



SHOWKO

ショウコ



SHOWKO

ショウコ

陶芸家 / SIONE 主宰 / Springshow.Co.Ltd CEO

京都で330年続く茶陶の窯元「真葛焼」に生まれる。佐賀での陶芸の修行を経て、2005年、京都で自身の工房をスタート。2009年に法人化し、「読む器」をコンセプトにした陶磁器ブランドSIONEを立ち上げる。全国で多数の企画展を開催。2011年より海外で本格的に展開。銀閣寺の近くに直営店をオープンし、ミラノ、パリ、中国、台湾、他、活躍の幅を世界に広げている。

同年、LEXUS NEW TAKUMI PROJECT の京都代表に選出され、プロジェクトに参加。

また、京都の老舗企業「福寿園」をはじめとする、他社の新規事業立ち上げや、ブランディング、コンサルティングも手掛ける。現在は、工芸の哲学を活かしたコーチングなど、「いま」を生きる人々の人生を心地よく幸せにしていく事業にも注力している。

メディア出演・掲載も多く、ドキュメンタリー番組「セブンルール」（カンテレ・フジテレビ系）の出演で注目を浴びた。著書に累計5万部（2023年4月現在）の『感性のある人が習慣にしていること』（クロスメディア・パブリッシング）と『私らしい言葉で話すー自分の軸に自信をもつためにー』（CCCメディアハウス：2023年5月発売）がある。

Instagram https://www.instagram.com/showko_/

SHOWKO <https://www.showko.jp>

Exhibition

- 京都高島屋 2006年 2009年 他
- 新宿伊勢丹 美術画廊 2011年 他
- 銀座三越 美術 2011年 2013年
- 高松三越 美術画廊 2013年
- 京都伊勢丹 20周年祭「こころい」 2017年 2018年
- ミラノサローネ 2011年より3年連続出展
- パリ 日仏会館 2014年
- 中国 // 重慶 2014年 2015年
- 中国 // 上海 2016年
- 中国 // 杭州 2016年
- 台湾 2015年 2016年
- バンコク 2019年
- など他多数

Media / 雑誌

- FIGARO 2014年 2月号
- PHP スペシャル 2014年 1月号より
半年連載
- BRUTUS 2013年 5月号 歩こう
- OPEN 2012年 愛する地元特集
- TURNS vol.7 2014年冬
- VOGUE japan 2014年 6月号
- 装苑 2014年 3月号
- &premium 3号、mook、他特集ページ
- Enjoy KYOTO
- きもの SALON 2019年春夏号
- 家庭画報 2019年 11月号
- TRAVELER (台湾)
- 京都新聞
- 日経MJ
- 他多数

Media / TV

- 極上の京都 - 京都放送
- アシタノカタチ - 関西テレビ
- 京都 美しい生き方 - Wacoal プレゼンツ
- LIFE 夢のかたち - 朝日放送
- セブンルール - 関西テレビ (全国放送) 他
- 羽田土曜会 - BS テレビ東京
- 京都知新 他多数

SHOWKO ARTWORK

ヤキモノは、私たちの年齢よりも遥か遠く未来まで届く
「手紙」のような存在だと考えています。

何度も塗り、焼き重ねることによって、立体感を増す陶板画、
古典文様と現代文様を組み合わせ制作した器。

直線と曲線、古典と現代、夜と朝。
古代から未来へ、脈々と継がれて行く、
儂く美しい「生命の讃歌」を活動を通して表現しています。



1. mirage
2. mirage (部分)
3. トキノアイダ
4. mirage-reborn
5. 夢の精



1. 更紗草花ストライプ紋 茶碗
2. 更紗草花ストライプ紋 茶碗 (部分)
3. spontaneous
4. 氷梅ストライプ紋 WAN
5. ダリア スタンドグラスランプ
(沢田いくみさんコラボレーション)
6. 亀と蝶の聖杯





1



3



2



4

1. 寿の皿 - 梅
2. 寿の皿 - 松竹梅鶴亀
3. 吉祥ストライプ WAN
4. 花吹雪 急須 茶杯
5. hino-tori
6. re born



5



6



銀座三越
2011年

銀座三越ギャラリーにて、陶板画と SIONE の作品展示販売。日本橋三越の画廊にて、自身の父である宮川香齋の展示を同時開催した。



新宿伊勢丹個展
2011年

新宿伊勢丹アートギャラリーにて、SIONE と SHOWKO の新作を展示販売。SIONE はものがたりを読み進められるしつらえにて展示し、ウィンドウなどの装飾、器の中の料理をイメージした花の装飾も華道家とコラボレーションによって制作した。



中国展示

重慶 / 上海 / 杭州

2014年～

重慶にある HOUSE OF HEDDY（インテリアライフスタイルショップ）にて、展示販売、茶会、壁面アートのドローイングライブを開催。他、中国の都市にてさまざまな展示と茶会を開催。



台湾展示ワークショップ

2016年～

「空想京都」という京都と台湾のクリエイターをつなげる展示会に参画し、台湾茶のメーカーであり喫茶を構える「pinchajiii 品茶集」にて展示とワークショップを開催。他、台湾のデザイナーデュオである「KIMU design studio」などとコラボレーションのランプ、スケートボードを制作した。



京都伊勢丹 20 周年記念プロジェクト「こころい」
ジェイアール京都伊勢丹
2017 年

ジェイアール京都伊勢丹 10 周年記念イベントとして開催。京都で活躍する書家、染織家、写真家、御菓子家と名前をつらね、陶芸家として参加。分野を跨いだコラボレーションや、トークイベント、茶会を開催した。

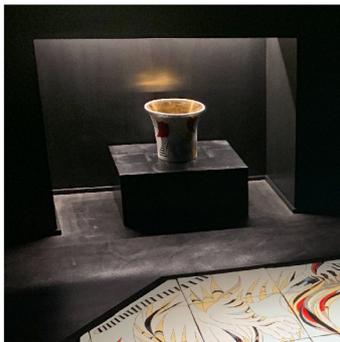




「こころい」あいのおと あいのことのほ あいのうつわ展
 ジェイアール京都伊勢丹
 2018年

こころい第一回に続き、ジェイアール京都伊勢丹にて和歌の作家、笙の演奏家と共に、和歌を題材にした作品を制作、展示した。和歌の見せ方として映像を用いて、新しい物語と音と器の出会いを表現。それぞれの作家の薦めたい商品なども展示販売した。





BnA Alter Museum 「2019年」
2019年



BnA Alter Museum 「3019年」
2019年

京都四条河原町下がるにオープンした、BnA Alter Museumというアートホテルの2部屋を担当。2019と3019という名前で、《現在》と《1000年後の未来》をイメージした部屋をフロアを跨いだ同じ場所に制作した。陶板画の作品、壺を割り再度金継ぎにて継ぎ直したコンセプチュアルな作品を制作した。



台湾展示「SIONE 感性をひらく」
2024年

日本の感性や精神性を伝えるイベントをスタート。台北にある図書館 & カフェにて SIONE の展示と茶会、音楽イベントを開催。他台北のティーサロン (ASABANTEA) にて、茶道と絵付けをワークショップを開催。五感で日本の「間」や「余白」の読み取り方、またもてなしを考えるイベントを主宰した。







「感性のある人が習慣にしていること」
クロスメディアパブリッシング (2021)

感性は持って生まれたものではなく、
今からでも身に付けられるもの。
自分らしく生きるための「ものさし」を手に入れるため
の49のすぐ実践できる習慣をまとめました。
14版5万部突破 (2024年6月現在)



「私らしい言葉で話す」
—自分の軸に自信をもつために—

CCC クロスメディア (2023)

言葉を磨くことは、感性を磨くこと。
言葉で考え、言葉をつかい、心を分かち合う私たちの
言葉との向き合い方のレッスン。





S I N E

SIONE は SHOWKO が物語を執筆し、それにあわせて絵柄を展開して、読み進められる器としてプロデュースしている。

物語は「未来の惑星創世記」や、日本の草花自然からの文様をモチーフとしており、食やお茶を共にする喜びの中に、生きるという根源的な問いかけを静かに語りかけるような、余白のあるブランドでありたいと思っている。

器の素地は、SHOWKO の修行先の産地である有田の工房、職人たちと協働して制作、絵つけを京都で施し、両方の産地の特性が組み合わせられた、新しい made in Japan としてブランディングしている。





<https://www.showko.jp>

<https://www.sione.jp>